

世界初の“レストラン”開業の秘密、教えます



デリシユ *Délicieux*

エリック・ベナール監督作品



1789年、フランス革命前夜 自らの表現を信じた料理人が起こしたもうひとつの革命があった

美食の国、フランス。そのフランスで初めて「レストラン」を作った料理人の爽快な人間ドラマ。フランス革命前夜。宮廷料理人であるマンスロンは、公爵主催の食事会で渾身の料理を振る舞う。しかし、自慢の創作料理が貴族たちの反感を買い公爵から解雇されるところから物語は始まる。貴族と庶民が同じ場所で食を共にすることが考えられなかった時代、フランス革命と共に訪れる「食の革命」。監督は、フランスで長く脚本家のキャリアを積んだエリック・ベナール。今作が長編第7作、初の時代劇となる。主人公のマンスロンに『グッバイ・ゴダール!』(17)のグレゴリー・ガドウボワ、『記憶の森』(01)でセザール賞主演女優を受賞したイザベル・カレがマンスロンと共に料理で公爵と対決する謎の女性ルイーズを演じる。先が見えない2022年秋、美味しいで華やかな映画が誕生した。



1789年、革命直前のフランス。誇り高い宮廷料理人のマンスロンは、自慢の創作料理「デリシュー」にジャガイモを使ったことが貴族たちの反感を買い、主人である傲慢な公爵に解任され、息子と共に実家に戻ることに。もう料理はしないと決めたが、ある日彼の側で料理を学びたいという女性ルイーズが訪ねてくる。はじめは不審がっていたマンスロンだったが、彼女の真っ直ぐな想いに触れるうちに料理への情熱を取り戻し、ついにふたりは世界で初めて一般人のために開かれたレストランを営むことになる。店はたちまち評判となり、公爵にその存在を知られてしまう…。

デリシューとは
薄切りにしたじゃがいもとスライスしたトリュフを重ねて生地で包み焼きしたパイ※当時のフランスではじゃがいもは一般的には豚のエサとして使われることが多く、まして優雅な貴族の食卓に並ぶものではなかった



出演:グレゴリー・ガドウボワ、イザベル・カレ、バンジャマン・ラベルネ、ギヨーム・ドゥ・トンケデック 監督:エリック・ベナール プロデューサー:クリストフ・ロシニヨン&フィリップ・ボエフール 脚本:エリック・ベナール、ニコラ・ブクリエ 撮影監督:ジャン=マリー・ドルージュ 音楽:クリストフ・ジュリアン 2020 / フランス・ベルギー / フランス語 / シネマスコープ / 5.1ch / 112分 / 原題:DÉLICIEUX / 配給:彩プロ
©2020 NORD-OUEST FILMS-SND GROUPE M6-FRANCE 3 CINÉMA-AUVERGNE-RHÔNE-ALPES CINÉMA-ALTÉMIS PRODUCTIONS

delicieux.ayapro.jp

デリシュー
Delicieux



9/2^(金)より おいしいロードショー!

地下鉄日比谷駅A4出口／全席指定制
TOHOシネマズ シャンテ
050(6868)5001 www.tohotheater.jp